令和５年度　第１回千葉市若葉区公民館運営審議会 議事録

１　日　時　令和５年７月１９日（水）１０時３０分～１１時５５分

２　場　所　千城台公民館２階　ホール

３　出席者　委員　１３人

小池 拓委員長、菅原 啓二副委員長、池田 幸夫委員、糸日谷 美奈子委員、
但田 禮子委員、中島 輝夫委員、中島 俊哉委員、中村 英明委員、
林 保子委員、日野 敬子委員、八倉 玲子委員、若葉 優子委員、
渡邊 千津子委員

事務局

千葉市教育委員会事務局　２人

小池 正彰課長補佐（生涯学習振興課）、積田 浩二主査（生涯学習振興課）

千葉市教育振興財団　１０人

小林 幹弘室長（公民館管理室）、時田　繁館長（千城台公民館）、
小林 秀典館長（更科公民館）、府間 洋一館長（白井公民館）、
角田 昌宏館長（加曽利公民館）、岩瀬 雄三館長（大宮公民館）、
三上 義昭館長（みつわ台公民館）、伊藤 直樹館長（若松公民館）、
小野 史博館長（桜木公民館）、大木 操副館長（千城台公民館）

４　議　題

（１）報告事項

ア　令和４年度千葉市若葉区公民館利用状況について

イ　令和４年度千葉市若葉区公民館事業報告について

（２）協議事項

ア　令和６年度千葉市若葉区公民館事業計画について

（３）その他

特になし

５　議事概要

（１）ア　令和４年度千葉市若葉区公民館利用状況について、千城台公民館長より報告した。

イ　令和４年度千葉市若葉区公民館事業報告について、各公民館長より報告した。

（２）ア　令和６年度千葉市若葉区公民館事業計画について、意見を伺った。

６　会議経過

・　開会

・　委員長挨拶

・　千葉市生涯学習振興課課長補佐挨拶

（1）報告事項

ア　令和４年度千葉市若葉区公民館利用状況について

会議資料に沿って、若葉区全体の利用状況、利用人数、利用回数について、千城台公民館長より説明した。また、若葉区公民館図書室の利用状況について説明した。

≪質問・意見≫

特になし。

イ　令和４年度千葉市若葉区公民館事業報告について

会議資料に沿って、若葉区各公民館の事業について、千城台公民館から桜木公民館まで順次各公民館長が説明した。

≪質問・意見≫

糸日谷委員：　若松公民館の大学と連携しての講座では中学生、高校生を対象にしており、小学生を対象としている講座が多い中でとても良いイベントだと思う。実際に子供たちからも良かったという話を聞いている。ぜひこのような機会をまた作っていただきたい。

糸日谷委員：　更科公民館のアフタースクールを令和２年度から開催しているということだが、内容としてプログラムがあるのか、運営はどこが行っているのか等をお聞きしたい。

小林館長　：　アフタースクールは、当該職員１４名が千葉市教育振興財団並びに生涯学習振興課の方々の指導を受けてプログラムを組んでいる。具体的には学校で与えられた宿題に取り組ませている、もしくは美術的な活動や音楽的な活動、理化学的な活動、グランドで運動するというプログラムを職員が作成している。子供たちは外で運動することを好んでいる。職員は生涯学習振興課から千葉市教育振興財団が委託を受けて職員を集めている。多くは退職した校長が指導に当たっている。

糸日谷委員：　みつわ台公民館の応募率が高い講座は他の公民館と比べて少し違うように思う。食べ物の講座や、夏休みの子供を対象にした講座でもない成人教育の中で応募率が高いものが多いと感じるが、告知や宣伝で工夫をしているのか。

三上館長　：　成人教育について俳句や健康体操、みつわ台近辺の遺跡等、話題性があるもの、身近なものを取り上げているので関心が高いのではないかと考える。また、成人と高齢者とを合わせて募集をしている。募集は市政だより、公民館情報誌、館内掲示で特別なことをしているわけではない。老人クラブ等の利用者が口コミで伝えてくれていることも効果があると思う。

糸日谷委員：　白井公民館では地域の要望を取り上げたとあるが、どのように取り上げたのか。

府間館長　：　白井公民館の非常勤職員が地元の方で公民館利用者の顔と名前が一致するという

地域の方と近い存在にあるので、地域の要望を取り上げやすい。また、社協等の様々な団体に所属している利用者の方がいて地域の方の要望を集約して伝えてくれることも役立っている。

池田委員　：　各公民館とも事業内容を工夫されていてありがたく思う。更科公民館のアフタースクールは子供たちが学校から帰った後の受け皿として公民館が実施しているのか。

小林館長　：　授業がある日であれば学校が終わった後、アフタースクールの職員が面倒を見ている。

池田委員　：　各学校で学校保育という形で学校の中に作っているところが多いと思うが、学校の中には無いからやっているのか。

小林館長　：　更科小学校の空き教室を活用してできればと考えていたようだが、小学校との相談の中で空き教室が確保できない、かつ学校の敷地内に建物を建てることができないということから近隣の更科公民館で事業展開できないかということで検討を進めてきたようである。

池田委員　：　白井公民館の１０番、大宮公民館の１１番、桜木公民館の１５番の世界遺産の講座について個人講師となっているが講師謝礼はどうなっているのか。

小林管理室長：公民館講座での講師は半ばボランティア的にやっていただける方にお願いしており、講師にお支払いする報酬も高いものではなく１万円未満でやっていただいている。

池田委員　：　講師謝礼についてはどこも厳しいと思う、私も他市町村の公民館で働いていて私自身が講座を担当しているが、結構なお金を払っているので、こちらではどうしているか伺った。私のところでも大きな課題だが、６０歳前の働いている方々に公民館に来ていただくことはできないかと思っている。公民館はいろんな方に来ていただく必要があると思うが何か工夫があれば教えて欲しい。

小林管理室長：全く同じ悩みを持っている、公民館利用者は高齢の方が多く、長期的には右肩下がりの状況がある。公民館は社会教育施設であるとともに地域と密接につながる施設であるので、多くの世代の方に利用していただきたいと考えている。リアルな講座では参加したくても仕事があって参加できないということになるので、オンライン講座を進めていこうと思う。また、若い世代の利用促進のため自習室を開放し学生に来ていただいている。

若葉委員　：　加曾利公民館の自然と蝶々について学習するという講座の応募者がゼロだったの

は少しショックだった、食べ物に関する講座はどの公民館も人気だったとのことで、やはり人間は虫を見るよりも食べる方がいいのかなと少しショックだった。子供達に生き物に触れさせるような環境を考えてくれると嬉しい。

林委員　：　若葉区老連で６月に元若葉区長の岩成さんに大規模自然災害に備える地震時の対応という講座をやっていただいた、スライドと岩成さんのお話の上手さで皆さん興味を持った。謝礼はかからず、若葉区老連では車代として包んだが、皆さん真剣に聞かれていた。また、前年は元千葉市の職員だった司法書士の方が講師になり、相続に関する講座も実施した。資料のコピーを会員に配られ、相続の際の注意事項なども教えてもらうことができたので、今日は紹介してみようと思った。

（２）協議事項

ア　令和６年度千葉市若葉区公民館事業計画について

公民館における講座等の取り組みについて意見や提案を伺った。

≪意見≫

糸日谷委員：　関東大震災から１００年の年だが、千葉市の中で関東大震災の被害がどのくらいだったのかなどについては資料が少なくて図書館で探しても見当たらないので、過去の災害の状況などについて大学教授等に来ていただいて教えてもらえる講座があったら嬉しいと思っている。

池田委員　：　消費者トラブル、通販などのトラブルへの対処方や食育など講師料が全くかからない講座を取り入れてもらえると参加しやすくなるのではないか。

中島 俊哉委員：地域特性があり一概には言えないが、全体的に音楽系、スマホ、料理の講座は人気がある、そば打ちなどどこの公民館も人気のある講座は複数回実施するなど、やれるのであればやっても良いのではないか。また、人気が無いのに毎年実施している講座も見受けられるので、見直して人気がある講座を複数やるなど頭を柔らかくして考えてはどうか。

糸日谷委員：　小学生の子供がいる保護者から夏休み暑い中外で遊べずに家の中でユーチューブばかり見ているという子が多いと聞いているので、ボードゲームなど子供達の交流にもなる講座があっても良いのではないか。

（３）　閉会